

受験番号

国語教育領域

令和4年度  
筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 (10月実施)

## 専門科目

(13:00~15:00)

### 解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 国語教育領域の専門科目試験問題は、「教科教育に関する問題」と「教科専門に関する問題」から構成されています。すべてに解答してください。
2. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
3. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
4. 専門科目の問題用紙の枚数は5枚です。
5. 解答は、問題用紙に直接記入してください。
6. 答案用紙のホッチキス止めは外さないでください。
7. 日本語で解答してください。

〔令和4年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題〕

受験番号	領域名 国語教育
------	----------

専門科目（教科教育に関する問題） 五枚のうち一枚目

一、次の①から⑤の中から三つを選び、簡潔に説明しなさい。なお、選んだ項目の記号を（ ）内に書き入れて解答すること。

- ①三読法
- ②西郷竹彦
- ③スピーチの指導
- ④ライティング・ワークショップ
- ⑤メタ認知

（ ）

（ ）

（ ）

【令和4年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題】

受験番号

領域名 国語教育

専門科目（教科教育に関する問題）

五枚のうち二枚目

二、次の英文を踏まえた上で、読み書き関連指導の在り方についてあなたの考えを書きなさい。

著作権法に基づき削除

Jill Fitzgerald & Timothy Shanahan (2000) Reading and Writing Relations and Their Development, Educational Psychologist, 35:1, 39-50, DOI: 10.1207/S15326985EP3501\_5

(裏面解答可)

【令和4年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題】

受験番号

領域名 国語教育

専門科目（教科専門に関する問題）

五枚のうち 三枚目

第一問（日本文学領域）

問題番号（一）

『源氏物語』桐壺巻冒頭の、「いづれの御時にか、女御、更衣あまたさぶらひたまひける中に、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけり」にかんする『尋流抄』の注釈を参照しながら、この作品がどのように享受されていたかについて考察せよ。

いづれの御時にか

古注に種々の義あり たゞ延喜の帝を可心当となり（『尋流抄』）

問題番号（二）

次の文学作品について解説しなさい。

「赤蜻蛉筑波に雲もなかりけり」

（裏面解答可）

【 令和4年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

受験番号

領域名 国語教育

専門科目（教科専門に関する問題）

五 枚のうち 四 枚目

第二問（日本語学領域）

(一) 次の文章を現代仮名遣いと常用漢字表記に改めなさい。

あるひ 或日の暮方の事である。一人の下人が、羅生門らしやうもんの下で雨やみを待つてゐた。

ひろ 廣い門の下には、この男の外ほかに誰もゐない。唯、ところ／＼丹塗にぬりの剥はげた、

大きな圓柱まるばしらに、蟋蟀せりふが一匹とまつてゐる。

(二) この文章を例にして、現代日本語の表記の問題点をあげなさい。

(裏面解答可)

【令和4年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題】

受験番号

領域名 国語教育

専門科目（教科専門に関する問題）

五 枚のうち 五 枚目

第三問（中国文学領域）

次に掲げるのは、『列子』の一節である。この文章を読んで、後の問に答えよ。

老成子学<sup>1</sup>幻於尹文先生、三年不<sup>2</sup>告。老成子請<sup>3</sup>其過<sup>4</sup>而求<sup>5</sup>退。尹文先生揖而進<sup>6</sup>之於室、屏<sup>7</sup>左右<sup>8</sup>而与之言曰、「昔老聃之徂<sup>9</sup>西也、願而告<sup>10</sup>予曰、『有生之氣、有形之狀、尽幻也。』造化之所<sup>11</sup>始、陰陽之所<sup>12</sup>變者、謂<sup>13</sup>之生、謂<sup>14</sup>之死。鷦<sup>15</sup>數達<sup>16</sup>變、因<sup>17</sup>形移易者、謂<sup>18</sup>之化、謂<sup>19</sup>之幻。造物者其巧妙、其功深、固難<sup>20</sup>窮難<sup>21</sup>終。因<sup>22</sup>形者其巧顯、其功淺、故随起随滅。知<sup>23</sup>幻化之不<sup>24</sup>異<sup>25</sup>生死<sup>26</sup>也、始可<sup>27</sup>与<sup>28</sup>学<sup>29</sup>幻矣。吾与<sup>30</sup>汝亦幻也、奚須<sup>31</sup>学哉。」

老成子帰、用<sup>1</sup>尹文先生之言、深思三月、遂能存亡自在、僦<sup>2</sup>校四時。冬起<sup>3</sup>雷、夏造<sup>4</sup>氷、飛者走、走者飛。終身不<sup>5</sup>審<sup>6</sup>其術、固世莫<sup>7</sup>伝焉。

問一 傍線部分（1）「老成子学幻於尹文先生、三年不告」を現代語訳せよ。

問二 傍線部分（2）「知幻化之不異生死也、始可与学幻矣」を書き下せ。

問三 『列子』の特徴について、問題文全体の内容を踏まえ、説明せよ。

（裏面解答可）